

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

| 番号 | 措置名 | 交付金事業の名称 | 交付金事業者名又は間接交付金事業者名 | 交付金事業に要した経費 | 交付金充当額 | 備考 |
|----|------------------------|-------------|--------------------|-------------|-----------|----------------|
| 1 | 公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営費 | 町道岳湯線舗装打換工事 | 小国町 | 6,341,000 | 6,341,000 | 総事業費 9,851,141 |

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

| 番号 | 措置名 | 交付金事業の名称 | |
|--------------------|--|-------------|-------------|
| 1 | 公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営費 | 町道岳湯線舗装打換工事 | |
| 交付金事業者名又は間接交付金事業者名 | | 小国町 | |
| 交付金事業実施場所 | 熊本県阿蘇郡小国町大字西里字山ノ口地内 | | |
| 交付金事業の概要 | 町道岳湯線舗装打換工事 施工延長 L=250.0m、アスファルト舗装工 A=1797.4㎡ | | |
| 総事業費 | 9,851,141 円 | 交付金充当額 | 6,341,000 円 |
| | | うち文部科学省分 | |
| | | うち経済産業省分 | 6,341,000 円 |
| 交付金事業の成果目標 | 本路線の1級町道岳湯線は、国道387号に接続する小国町観光の中心であるわいた温泉郷を通る全長3,226mの道路です。しかし舗装は、老朽化による凸凹や亀裂で利用者の通行に支障を来しており、また、今後は更に老朽化が進み、日常の通行や緊急時の通行を妨げる恐れがあるので、路面状態を良好にし、安心・安全な通行を確保し、地域住民の福祉の向上を図ることを目標とします。 | | |
| 交付金事業の成果指標 | 全延長(3,226m)の維持管理指数(MCI)が「望ましい管理水準」とされる5.1以上の割合を昨年度事業により約5%増の8%としました。今年度事業では約8%増の16%の改善を目指します。 ※維持管理指数(MCI)とは、舗装の劣化状態を「ひび割れ率」、「わだち掘れ量」及び「平坦性」の3要素によって定量的に評価するものです。 | | |
| 交付金事業の成果及び評価 | 平成28年度は路面性状調査の資料に基づきMCI値が1.3~2.3と非常に悪い区間の延長250.0mを実施しました。その結果、全延長(3,226m)の維持管理指数(MCI)が「望ましい管理水準」とされる5.1以上の割合が約8%増の16%となり、住民の安心・安全な通行の確保及び地域住民の福祉の向上に寄与することができました。 | | |

| 交付金事業の契約の概要 | | | | | |
|-----------------------|---|--------|--|------------------------|-------------|
| 契約の目的 | | 契約の方法等 | | 契約の相手方 | 契約金額 |
| 舗装打換等 | | 指名競争入札 | | (有)梶原建設 | 9,851,141 円 |
| | | | | | |
| 計 | | | | | 9,851,141 円 |
| 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無 | 無 | | | 交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度 | H38年度 |

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載